

男女共同参画についての市民意識調査（概要）

男女平等に関する意識について	
政治、社会通念・慣習・しきたりなど、社会全体について、『男性優遇』の意識が高い。 職場における『男性優遇』は毎回減少傾向（▲6.4ポイント） 地域活動で『平等である』と感じる割合は女性26.5%、男性41.9%で性別による差異が大きい。	
家庭生活について	
【追加分析】『自分と配偶者（パートナー）が掃除・洗濯を同じ程度に担当している』と感じる割合	
女性全体：6.6% 共働きカップルの女性：10.9% フルタイム共働きカップルの女性：18.1%	男性全体：11.8% 共働きカップルの男性：22.1% フルタイム共働きカップルの男性：43.1%
【追加分析】『自分が食事の支度を担当している』と感じる割合	
女性全体：70.1% 共働きカップルの女性：88.0% フルタイム共働きカップルの女性：75.5%	男性全体：7.5% 共働きカップルの男性：4.0% フルタイム共働きカップルの男性：6.2%
子育て・教育について	
子どもに望ましいと思う生き方（女の子）本人の意思に任せる54.8% （男の子）本人の意思に任せる49.9%、経済的に自立した生活をする49.6%	
就労について	
男女が対等に働いたり、地域も含めた社会の様々な場面で能力を活かして活動するために必要なこと	
【追加分析】	
<ul style="list-style-type: none"> 男女ともに能力を発揮できる配置を行う：58.1%（ひとり親世帯61.7%） 結婚や出産にかかわらず働き続けられる職場の雰囲気醸成：58.1%（ひとり親世帯61.7%） 賃金、昇給の男女格差をなくす：51.7%（ひとり親世帯61.7%） 	
仕事と生活の調和について	
（希望）「仕事を優先」3.5%、「仕事と個人の生活をともに優先」48.8%、「個人の生活を優先」36.6% （現実）「仕事を優先」32.8%、「仕事と個人の生活をともに優先」25.7%、「個人の生活を優先」21.8%	
あらゆる暴力について	
配偶者（パートナー）や交際相手など親密な関係にある人から、何らかの暴力を受けたことがある人 女性29.9%、男性12.8%	
親密な関係にある人からの暴力についての相談窓口として知っているもの：警察67.4%	
【追加分析】相談窓口として警察しか知らない人：女性（640人中）164人、男性（467人中）161人	
男女共同参画社会づくりについて	
男女共同参画社会を進めていく上で、行政はどのようなことに力を入れるのがよいと思いますか	
<ul style="list-style-type: none"> 男性も女性も労働者が、仕事と家庭の両立をできるように支援する 採用・昇進・賃金など、就労の場における男女格差をなくす 	
【追加分析】ひとり親世帯は「女性の生き方に関する情報提供や交流の場、相談、学習の場を充実させる」も比較的高い割合となっている。	